



2017.11.2

鈴木 恵一

寒くなってきましたね。時折、雪がちらつく日もありますね。明日から3連休です。ちょっとだけ一息つけるかな。休みが明けると「生徒総会」があります。新しい役員も決まり、後期の生徒会運営もこれまでどおり活発に行われることを期待しています！

文化の日に「文化」を考える



さて、明日は「**文化の日**」です。改めて文化の日について調べてみました。

国民の祝日に関する法律によれば、この日は「**自由と平和を愛し、文化をすすめる日**」と位置づけられています。11月3日となったのは、日本国憲法が公布された日（施行は5月3日（憲法記念日））であり、憲法が平和と文化を重視しているということが理由となっています。わが国の文化庁では約 1,200 億円の予算を組んで「**世界に誇るべき「文化芸術立国」の実現**」をスローガンにさまざまなことに取り組んでいます。そのなかには、高校生を対象にした文化、芸術、伝統芸能の各種イベントやコンクールの開催もあります。

◆文化ってなんだ？



「文化」とは、そもそも何なのでしょう。説明できそうに説明しにくいですよね。よく考えてみると、いろいろな意味があって何となく曖昧……

言葉としては日常的に、カルチャー、文化的、文化祭、文化庁、文化交流、文化勲章、食文化、伝統文化、日本文化、若者文化……など、さまざまな表現が用いられています。実は非常に抽象的で意味も使い方も幅広くて底が深いことがわかります。時として、芸術や文学の産物を文化と定義することもあります。

また、特定の国や地域の人々が共有している行動様式ようしきや生活様式をさすこともあります。こうして考えてみると、思想、信仰しんこう、慣習、制度、道具、技術ぎしき、儀式など、有形・無形で実に幅広く多様であることがわかります。

社会学や社会科学といわれる研究分野では、文化について次のような説明がされています。「**思考、感情、衣、食、住、機械、制度などがひとつのセットとして構成され、構成の諸要素は言語、価値、社会、技術の4分野に大別される**」。

うむー、なんだか難しいですね……「文化」という言葉だけで、いろいろな方向に話を広げられそうな感じがします。そして、文化の日には「自由と平和」を考えるのです！私は大通高校を題材にしながら、あれこれと考えてみました。

◆大通高校の文化

大通高校では「たぶんかきょうせい多文化共生」という言葉をよく用います。国内外のいろいろな文化・環境のなかで生まれ育ち、そこで身に付けてきたことを、みんなで理解し合い共に手を携たすさえて生きていこうよ、という考えです。

人と人との間には見えない境界線きょうかいがあります。人は生まれ育った地域の慣習、風土・気候の違い、性差、障がいの有無、家庭、学校、会社などから様々な学びを得て、ものの見方、考え方が身につき、ひとつの人格が形成されていきます。

私たちはお互いの文化の違い、性差、身体的機能の違い、考え方の違いなどを認め合い、尊重そんちょうし合い、対等な関係きずを築くよう努めることが必要です。これまで何度か触れてきた言葉として、「多様性（diversity ダイバーシティ）」があります。生物多様性もそのひとつでしょう。ミツバチとスズメバチ、人間とヒグマ……現代は異なる性質のものを排除はいじょしたり存在を否定するのではなく、共存できる環境を考えていくことが求められている時代です。



本校は平成 20 年度に開校して以来、**ユネスコスクール**加盟校として、**持続可能な開発のための教育**（ESD：Education for Sustainable Development）にも取り組んでいます。国際社会、国際交流、グローバル社会という言葉がよく出てくるこの時代、「じゃあ外国語を身に付けよう」「海外へ行ってみよう」「外国から来た人々を日本流でもてなそう」という考えは間違いではありません。ただし、それはあくまでも入り口にしか過ぎません。異文化

に触れ、体験し、理解を深め受容^{じゅよう}することが大切なのです。

では、あなたは自国のことをどれだけ説明できるでしょうか。政治、経済、文化・芸術などさまざまな分野で**グローバル化**（^{きょうかい}境界を超えて世界規模で融合^{ゆうごう}しようとする動き）が進展しています。



そこで私たちに求められているのは、第一に、「人」と「文化」を理解することです。社会がどれほど高度化・複雑化しても、そしてどんなに人工知能が高度に進化しても、人対人で物事が動いていくという根本は変わりません。国際交流を進めるのは人間同士であり、その背景にある文化を理解し合うことから国際交流はスタートします。

日本に生まれたあなたが、外国の人に日本の文化を説明する際、何をキーワードにしてどれだけのことを説明できますか？ どんなネタがありますか？ あるいは北海道のこと、札幌のことをどれだけ知っていますか？

日本人以外のあなたはどうですか？ 中国、韓国のあなたはどうですか？ ロシア、フィリピン、インドネシア、タイ、アメリカのあなたはどうですか？ あなたが生まれ育った国、住んでいた地域の文化をどう紹介しますか？ 教育のこと、衣食住のこと、政治や経済のこと……



あまり固く考えると悩んじゃうかな？

ファッションや音楽のこと、マンガやアニメだって「文化」という括^{くく}りで語るができます。まったく異なる文化を持つ人に対して、自分の文化を説明し理解してもらおう努力も必要ですし、相手を受容する努力も必要です。

お互いにわかり合い認め合い共生していくためにも、ちょっとだけそういう視点で行動すると、もの見方が変わってきます。「これって、説明するときどうやって表現したらわかってもらえるかな……」と。

文化の日にだけ文化のことを考え、語ればよいわけではありません。日頃から慣れ親しんでいる「当たり前」のなかに文化が潜^{ひそ}んでいるのです。

